



第67号(平成29年3月発行)  
東海ノア協定事務局  
(原子力機構・原子力科学研究所内)  
TEL: 029-282-5801  
E-mail: [t-noah@jaea.go.jp](mailto:t-noah@jaea.go.jp)  
URL: <http://tnoah.jaea.go.jp/>

東海ノア通信第67号をお届けします。

東海ノア協定では、加盟事業所の皆様方との相互協力をもとに、積極的に協力活動を進めていきたいと考えています。東海ノア通信では、こうした日頃の協力活動をよりわかりやすく皆さまに紹介しています。

なお、東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.jaea.go.jp/> です。

#### 〔トピックス〕

##### ☆活動状況

- 安全協力委員会の開催状況
- 活動推進幹事会の開催状況
- 安全教育に係る協力活動
- 情報等の交換に係る協力活動

#### 東海 NOAH:

「東海」東海村、「N」那珂市、「O」大洗町、「A」旭村(現銚田市)、「H」ひたちなか市

## ☆活動状況

### 安全協力委員会の開催状況

#### ○第36回安全協力委員会

〔開催日〕 平成29年3月24日（金）

〔開催場所〕 原子力機構 原子力科学研究所

〔議題〕

- （1）第35回安全協力委員会議事録について
- （2）平成28年度活動状況報告について
- （3）平成29年度年間活動基本計画（案）について
- （4）緊急事態協力活動要領等の一部改正について
- （5）協定加盟事業所の近況について
- （6）その他

第36回安全協力委員会では、議題（3）により平成29年度年間活動基本計画（案）についての審議がなされ、原案通り承認されたことから、原子力事業所安全協力協定に基づく平成29年度の協力活動は、本基本計画に沿って進めていくこととなりました。



第36回 安全協力委員会の様子

### 活動推進幹事会の開催状況

#### ○第78回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成29年3月10日（金）

〔開催場所〕 原子力機構 原子力科学研究所

〔議題〕

- （1）第77回活動推進幹事会議事録について
- （2）平成28年度活動状況報告（案）について
- （3）平成29年度年間活動基本計画（案）について
- （4）緊急事態協力活動要領等の一部改正について
- （5）東海ノア通信第67号の発行について

## (6) その他

第78回活動推進幹事会では、議題(2)及び(3)により平成28年度活動状況報告(案)及び平成29年度年間活動基本計画(案)についての審議がなされ承認されました。よって、平成29年3月24日に開催の第36回安全協力委員会において、平成28年度活動状況を報告するとともに平成29年度年間活動基本計画(案)についてご審議いただくこととなりました。



第78回 活動推進幹事会の様子

## 安全教育に係る協力活動

### ○安全教育研修の開催

平成29年2月1日(水)、東海ノア協定に基づく平成28年度第2回安全教育研修を、日本原子力発電(株)東海事業本部東海総合研修センターを会場に、協定加盟4事業所から9名が参加し、開催しました。

研修は、東海第二発電所の新規制基準への対応状況等の講話に引き続き、「身の周りの放射線測定体験」を室内や屋外で実習を行いました。そして、フルスコープシミュレータ建屋では、炉心溶融の実習を体験した後、普通では見学することの出来ない東海第二発電所の中央制御室の実寸モデルを見学し、地震が発生したことによる警報パネルの点灯、電源喪失による室内照明や警報パネルの消灯などを体験しました。

研修後に実施したアンケートでは、シミュレータ運転体験は専門的過ぎる、とのこと意見もありましたが、概ね良好であったと評価しております。

#### 〔研修会概要〕

【講 話】 東海第二発電所の近況について(東海発電所の概要)

【実習①】 身の周りの放射線測定体験

【実習②】 シミュレータによる運転体験

【見 学】 東海第二発電所フルスコープシミュレータ

## 【研修風景】



講話「東海第二発電所の近況について」



実習「身の周りの放射線測定体験」



実習「シミュレータによる運転体験」



## 情報等の交換に係る協力活動

### ○事故、トラブル情報

原子力事業所安全協力協定に基づき、協定加盟事業所の事故・トラブル情報について、プレス発表されたものではありませんでした。

### ○緊急時を想定した訓練に係る情報

#### 1) 視察可能な総合訓練に係る情報の提供

〔開催日〕 平成29年1月25日（水）

〔場 所〕 日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター

〔訓練名〕 大洗研究開発センター総合訓練

日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおいて、総合訓練が行われ、協定加盟事業所からは3名（1事業所）の方が見学に参加されました。

この訓練は、茨城県沖を震源とする地震（予震）（大洗町・鉾田市震度4）発生、原子炉施設の附属建家機械室（非管理区域）の電源盤から火災発生。その後、大規模地震（本震）（大洗町・鉾田市震度6弱）発生、大洗研究開発センター内複数施設が同時被災、送電線に被害が生じて商用電源が全喪失したが、非常用電源系統は正常に起動したと仮定。

訓練対象施設「燃料研究棟」では放射性物質の異常放出、また、「材料試験炉」機械室電源盤での火災に伴う消火活動ならびに負傷者の救出及び身体汚染に伴う緊急被ばく医療等を想定して訓練を実施しました。



現地対策本部



プレス対応訓練

## その他

### (1) 緊急被ばく医療関連情報連絡会

茨城県が主催する医療機関、原子力事業所及び緊急搬送関係者間等の緊急被ばく医療に関する相互理解を推進するための緊急被ばく医療関連情報連絡会より協力依頼を受けて、加盟事業所への開催案内を行い、事業所からの参加者を募り参加しました。

#### 1) 緊急被ばく医療関連情報連絡会原子力事業所見学会（作業環境視察）

〔開催日〕 平成29年1月18日（水）及び24日（火）

〔場所〕 量子科学研究開発機構 那珂核融合研究所

〔参加者〕 18日：9名／5事業所

24日：7名／4事業所



那珂核融合研究所

#### 2) 緊急被ばく医療関連情報連絡会講演

〔開催日〕 平成29年2月22日（水）

〔場所〕 いばらき量子ビーム研究センター東海村研究交流プラザ

〔演題〕 「新たな被ばく医療体制における取組み  
～ベストプラクティスを目指して～」

〔講師〕 長崎大学大学院保健学医歯薬学総合研究科 看護学講座  
長崎大学原子力災害対策戦略本部 高度被ばく医療支援  
センター 連絡調整部門副部門長 福島 芳子 氏



〔講演会の様子〕

〔参加者〕 10名／6事業所

以上

## 〔編集後記〕

今年は年明け早々、大相撲1月場所において茨城出身力士である稀勢の里関が見事初優勝を果たし、第72代横綱に昇進し、祝福ムードに湧き上がっています。

橋本知事も横綱昇進に際し、「19年ぶりの日本人横綱、そして茨城県出身では、81年ぶり戦後初めての横綱誕生という快挙は、国民、県民にとって大きな喜びであり、本県にとっても大きな誇りであります。300万県民を代表して、心からお祝い申し上げます」とお祝いの談話をのべられ、2月9日には、茨城県庁において、稀勢の里関に県民栄誉賞が贈られました。

また、横綱昇進後の春場所で怪我を負ったの逆転優勝は、県民に感動を与えました。

.....

ここ数年、県内各地でひなまつりイベントが多く行われるようになってきました。

大子町の「百段階ひなまつり」では約1000体のひな人形が飾られ、大勢の人でにぎわいますが、東海村でも原電東海テラパークにおいて、東海村在住の女性グループによる、つるし雛や創作人形等の作品が展示されています。なお、今年の展示は終わってしまいましたが、年末には茨城県公式観光情報サイト「観光いばらき」(<http://www.ibarakiguide.jp/seasons/hina.html>)で大子町をはじめ、那珂市、水戸市、笠間市などのひなまつり情報が掲載されますので、各地のひなまつりを廻ってみては如何でしょうか。

最後に「東海ノア通信」は、平成12年8月に第1号を発行以来、16年半に亘って協力活動の状況を四半期毎に取り纏め、お知らせしてまいりましたが、第67号をもちまして発行を終了することとなりました。

これまで「東海ノア通信」の発行にご協力いただきました、加盟事業所をはじめ、関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

活動の状況につきましては、これからも「東海ノアホームページ」におきまして、お知らせしてまいりますので、引き続きご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



(茨城県HPより転載)



東海テラパーク・つるし雛展 (2月28日撮影)